

市長公室 平成23年度局運営方針

1 基本方針

多様化する市民ニーズを市政に反映するため、全庁に寄せられている市民の声を市政に反映する仕組みづくりを行います。また、市民の視点で物事を考え実践することを大切にしながら、スピード感ある開かれた市政の実現と透明性の向上を図るとともに、市民が必要とする情報を迅速かつ正確に提供するため、市報やホームページ・新聞・テレビ・ラジオ等の広報媒体を利用した情報発信や、記者会見・資料提供などのパブリシティの活用による積極的な広報活動を実施します。また、施策の立案・変更・実施等にあたって、市民意識を迅速に把握するため、インターネットを活用した調査を新たに実施します。

2 主な取組

(1) 市民の視点を大切に開かれた市政の実現と透明性の向上

ホームページで市長の行動記録や現場訪問、また交際費の記録や行事日程などを迅速に公表します。

(2) 「さいたま市PRマスタープラン」の推進

「さいたま市PRマスタープラン」に位置づけられた各種事業を実施し、情報の発信・受信を通して市民との良好な関係をつくり、市政運営の高度化・円滑化、都市の魅力と活力の向上を目指します。

市政情報の効率的な提供

費用対効果を勘案し、パブリシティを活用した情報の提供機会や方法の充実を図ります。

読みやすく親しまれる「市報さいたま」の発行

読みやすい紙面で施策や事業をわかりやすく伝えます。

市民の声の市政への反映

- ・市民一人ひとりが幸せを実感することができる市政にするため、市長と市民が直接対話するタウンミーティングの充実を図ります。
- ・市民の声を集約するためのデータベースの基本計画・設計をまとめるとともに、市民の声を市政に反映する仕組みを整備します。
- ・市政全般に渡る市民の満足度や要望を把握する市民意識調査を実施するとともに、市民意識を迅速に把握できるインターネットを活用した調査を新たに実施します。

3 行財政改革への取組

(1) 「市報さいたま」の充実

「市報さいたま」をより読みやすく親しまれる紙面とするため、施策や事業を紹介するページの充実を図ります。

(2) さいたまシティ・アイデンティティ創出事業の統合

「さいたま市PRマスタープラン」の中に「さいたまシティ・アイデンティティ創出事業」の取組を盛り込み、さいたま市の施策や魅力をアピールする効果的・効率的な情報発信体制を整備します。

(3) コールセンター等電話問合せ窓口の再構築

代表電話に入る電話をコールセンターに転送し、コールセンターにおいて問合せ対応を行うように、電話問合せ窓口を段階的に再構築します。

平成23年度より、本庁舎代表電話(土日のみ)をコールセンターへ統合します。

4 市長公室予算額

<一般会計>

(単位：千円)

平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	増減
341,829	345,329	3,500

5 市長公室主要事業

(単位：千円)

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
1	秘書事務事業(秘書事務事業) 市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務及びスケジュール管理等を効率的に行います。また、市長記者会見を広く市民などの視聴に供するため、インターネットによる動画配信を行います。	秘書課 広報監付	39,382
2	ホームページデザインリニューアル(広報事業) ホームページのトップページをリニューアルして、利用者の利便性を向上します。	広報課	2,561
3	都市イメージキャッチフレーズの策定(広報事業) 本市が目指す都市イメージの方向性に沿った市のキャッチフレーズを市民参加により決定し、誕生10周年記念式典で発表します。	広報課	8,828
4	出前講座の実施(広報事業) 職員が市民の集会、会合等に出向いて、市の施策や事業等について説明します。	広報課	454
5	タウンミーティングの開催(広聴事業) 市長と市民が直接対話する機会としてタウンミーティングを各区2回開催します。	広聴課	800
6	市民の声データベースの構築(広聴事業) 市民の声を集約して市政への反映を図るため、コールセンターと一体となった市民の声データベース構築のための基本計画の策定等を行います。	広聴課	12,000
7	市民意識調査の実施(広聴事業) 市政に関する市民意識を把握し、施策の立案・実施等に活用するため、郵送によるアンケート調査を行うとともに、迅速に市民意識を把握できるインターネットによる調査を実施します。	広聴課	6,800